



ひなどり

園だより 3月号
令和4年 3月 1日
新潟市立新津第三幼稚園

「春よ来い！」

園長 川合 千尋

幼稚園では、2月3日の節分の行事を終え、今は遊戯室におひな様が飾られています。だんだんと春が近付いている気持ちになります。

ほんの少しずつですが、暖かく感じるようになってきました。これからは里山の方で、マンサクの花が咲き始めることでしょうか。春になってまず咲くから「まず咲く」と呼ばれるようになったとの説がある花です。細く、黄色糸状の花が特徴的です。

(右写真)



また、とけ残った雪の合間に可憐に咲く雪割草（オオミスミソウかな、実は判別が難しく、他にも雪割草と呼ばれる花があります。左写真）もすてきです。雪解けの後にひょっこり顔を出して、これから角田山の麓に咲いているのが見られます。とても楽しみです。

幼稚園の周りにも、タンポポやオオバコのロゼット（地面に平らの葉っぱだけのもの）が顔を出してきました。もしかするとフキノトウも出てくるかな？みんな今か今かと春を待ちわびています。お正月の時に話をした春の七草（セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベ、ホトケノザ、スズナ、スズシロ）も見つけてみたいですね。

雪をかき分け、寒さの中で一番先に芽吹いてくる草花は、小さくてもとても力強いエネルギーを感じます。そうした早春の芽吹きのように、第三幼稚園の子どもたちも元気いっぱい、毎日がんばっています。この時季の子どもたちはびっくりするほど成長します。もしかすると、年度の変わり目に何かのスイッチが入るのでしょうか？それとも、周りの大人の期待が高まるからでしょうか？いずれにせよ、来月4月になって、少しずつお兄さん、お姉さんになる子どもたちが今から楽しみです。